

「当院歯科外来における全身麻酔下歯科治療 3400 例の後方視的検討
—ラリンジアルマスクエアウェイを中心として—」について

森之宮病院およびボバース記念病院歯科診療部では、外来歯科診療室で実施した全身麻酔下歯科治療に関する後方視的調査を実施します。本研究では、診療の過程で取得した診療情報（診療録・麻酔記録等）を利用します。

本研究について詳しくお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、本研究の対象となる方またはそのご家族で、ご自身またはご家族の診療情報を研究に利用してほしくない并希望される場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいたことにより、診療上の不利益を受けることはありません。

【研究課題名】

当院歯科外来における全身麻酔下歯科治療 3400 例の後方視的検討—ラリンジアルマスクエアウェイを中心として—

【研究代表機関および研究代表者】

研究代表機関：森之宮病院歯科診療部

研究代表者：部長 旭 吉直

【問い合わせ先】

研究事務局

e-mail：ynasahi@omichikai.or.jp

【調査研究対象者】

2013 年 1 月から 2025 年 12 月までの間に、森之宮病院およびボバース記念病院歯科診療部外来診療室において全身麻酔下歯科治療を受けられた方

【利用する診療情報の項目】

年齢、性別、身長、体重、障害・基礎疾患、麻酔方法、気道管理法、合併症、歯科治療・口腔外科手術の内容等

※利用する情報は、研究計画に基づき適切に管理し、研究結果の公表に際して個人が特定されることはありません。

【調査研究の目的】

森之宮病院およびボバース記念病院歯科では、通常の方法での歯科治療が困難な患者さんを対象として、2001 年以来、外来歯科診療室で 5000 例以上の全身麻酔下歯科治療を重大な有害事象なく実施してきました。患者さんの全身状態や処置内容に応じて、ラリンジア

ルマスクエアウェイ（LMAF）、経鼻挿管などの気道管理法を選択していますが、日帰り治療が必要な患者さんが多いことから、LMAF を用いた全身麻酔を主に実施しています。

本研究では、これまでの診療記録を解析し、各気道管理法の選択状況や安全性、適応となる歯科治療および口腔外科手術について検討し、今後の診療の質の向上に役立てることを目的としています。

【研究期間】

調査研究の実施許可日（2026 年 8 月 26 日）より 1 年間（予定）。

【研究成果の公表】

本研究の成果は、学会発表や学術論文等で公表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

【研究への情報利用を希望されない場合】

ご自身の診療情報を本研究に利用することを希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。可能な限り研究対象から除外します。ただし、すでに研究結果が公表されている場合などは、情報を除外できないことがあります。

【研究責任者および問い合わせ先】

研究責任者：森之宮病院歯科診療部 部長 旭 吉直

研究事務局

e-mail：ynasahi@omichikai.or.jp